

1	会議名	第3回 学校運営協議会
2	日時	令和4年8月31日 午後5時45分から午後7時00分まで
3	会場	浦里小学校 音楽室
4	出席者	井澤良夫会長、渡辺惣伸副会長、島田義英委員、林秀直委員 朝倉恭子委員、堀内寛子委員、オンライン参加：安齋理江委員
5	市側出席者	なし
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	会議概要作成年月日	令和4年9月30日

協議事項等

1 開 会

2 会長挨拶

9月5日で火災から10年。すべてのみなさまに心から感謝。先日の通知でもあったように、現在警戒レベル6のため、当日は児童と教員で実施。なお、今後は、みなさまのご意見を伺い進めていく。昨日、児童の減少により、西内小学校が丸子中央小学校と統合していくことについて報道があった。保護者と4回、地域住民と2回の会合を行い、PTAも統合はやむをえないと考えているようだ。本校も児童数が減少する中で、他人事ではない。今後動向を注意していきたい。コロナ禍ではあるが、2学期の行事が全てできるように願っている。

3 学校長挨拶

朝夕涼しくなり、落ち着いた2学期を迎えている。しかし、コロナの警戒レベルは依然として6であり、医療もひっ迫している。学校も感染症の対応をしっかり行っていく。火災から10年であると、2学期の始業式で子どもたちに話をした。本日はZoomにより安齋先生にも参加いただいている。

先日川西地区の人権に関する懇談が行われ、水平社100年の話があった。また、7月には令和3・4年度に川西地区の学校に着任した教員の研修があり、南沢恵美子さんの結婚差別について学んだ。11月には、第六中学校ブロックの人権同和教育研究会が本校で開催されることもあり、人権同和教育について大切に指導していきたいと考えている。

4 議事

(1) 令和4年度7月参観日保護者アンケート結果について

会長：参観日での音楽の授業参観ははじめてか

学校長：これまであまり多くはなかった。

副会長：5年の「ゲコゲコ風車」は、どうして好評だったのか。

教頭：高原学習で雨天時案として実施する予定だったが、晴天だったためキットを持ち帰ってきた。そのキットで実施したが、振動を与えると風車が回転するところが不思議で、児童も保護者も楽しめていた。

学校長：これまで参観日などの保護者アンケートでは、6つの質問に対して「そう思う」「代替そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」の5つから選択して評価いただいた。その結果をまとめて昨年と比較しているが、そもそも回答数が少なく、およその傾向がわかるにしても妥当性があるか分析しにくかった。感想だけにしていくようにできないかという意見があるが、いかがか。

委員：あてはまらない評価項目もあるので、感想だけでも十分ではないか。

委員：学校の中で閲覧するだけの内容であるし、分母が小さいので数値で判断するよりも、感想を大事に扱っていった方がいいのではないか。

委員：数年前からずっとこの方法でやってきている。集計に携わる方は苦勞していた。これをどこま

で使うのかという話も出て、まとめも簡素化しましょうという方向になっている。家庭や地域が評価することで、学校が委縮する必要はない。ただ、「授業で子どもたちが発言する機会がありましたか」等の大事にするポイントは大事にしていきたい。先生方がある意味緊張感をもってやってきていただいていた。

学校長：評価はしなくとも、見ていただくための視点をつける形でいかがか。

会長：そのように見直しをしていった方がよいと考える。回答数が少なく、一人の意見で数字が大きく変わってしまうので。今後、参観日などのアンケートでは、感想記入のみの方向で。

(2) 1学期学校評価アンケートについて

教頭：児童、保護者、職員の3種類のアンケート結果をご覧いただきたい。

委員：「そう思わない」と回答している児童への対応が大切である。

学校長：これは1学期にとったものだが、毎月「自分を見つめるアンケート」をしている。心配なお子さんには担任が話を聞くようにしている。学校全体で見守るフォローをしている。

委員：いじめが話題になるので、そういうところをしっかりと見ていかないといけないのでは。

会長：感想にもそのようなことが書かれている。今後も考えていっていただきたい。

委員：こまゆみ教室に向けて、長野大学生が畑でサツマイモを育てている。長野大学生が時々、サツマイモの世話に来ている。地元の人ではない若い人が水をあげている姿を見かけた。

委員：学校の先生方ご自身の評価が控えめすぎる。遠慮なく「やっています」と言ってほしい。

委員：先生方が「行事が多い」との感想のようだが、PTAとしては、学校と協力して、子どもを真ん中にして、子どものためにということをやっている。何が多いと感じているのか、明確にしてほしい。

委員：コロナ禍でこれまでのように行事を運営できず、対応が変わってきている。係のノウハウなどが残せないことが負担につながっているのでは。

委員：実際に多いと感じたものを教えてほしい。他の学校でも変わってきていることもあるので、対応して検討していけるようにしたい。

委員：行事を担当する職員の人数が少ないので、去年までのことがわからないと戸惑うのでは。他の小規模校の先生とお話したときに、小規模校で教職員が少なくても同じだけ仕事があるので、負担が大きいとお聞きした。

委員：資料作りや例年決まっているものは、PTAに投げてもいいと思う。フォーマットの決まっているものなどは。事前に資料をいただいて、見ておいてとする方がわかりやすい。その上で意見交換しながらやっていける方がいいのでは。負担ですよと愚痴ってもらってもいい。

(3) 9月5日(月)「校舎を大切にする日」について

教頭：警戒レベル6となったため、今回は子どもと職員のみで行う通知を出した。11月12日(土)に、同様の機会を設けることを検討している。2学期始業式の学校長の話の中で、校舎を大切にする日について触れた。

(4) 11月12日(土)「なかよし参観・火災から10年の節目」について

教頭：参加基準レベルにより各家庭1名と考えるが、中止もあり得る。学校運営協議会の皆様には手指消毒、検温等をお願いしたい。1校時は校舎を大切にする日代替行事、のはらっこ読み聞かせ、2校時は各クラスで人権にかかわる授業、3校時は人権同和教育講演会を予定しており、午前中で下校の予定。

学校長：火災から10年の節目の行事は学校運営協議会が主催で、11月12日(土)の午後、2時～3時30分くらいの予定で。当時の校長先生である滝澤校長先生、そして柳町先生にもお声

がけする。次回の学校運営協議会は12月になってしまうので、9月に準備のための臨時をとることができたらと考えている。

委員：コカリナを岩田さんに演奏してもらったらどうか。

委員：この10年間に在籍していた教職員全員に通知を出して出欠をとってほしい。

学校長：その方向で検討する。

(5) 150周年記念事業実行委員会について

委員：第1回の実行委員会を開いた。記念式典、記念講演会の実施、音楽会・運動会に冠をつけてやる、記念植樹（140周年植樹の管理を含めて）、記念誌の作成（140年から10年を振り返る）、原稿を集める、PTA地域コーラス、航空写真（ドローン使用を検討）地域個配で企画アイディアの募集を行う。

委員：ここ1～2年で150周年を迎える学校が多い。浦里小も数年に一度バザーを行ってきたが、他校の話ではバザーは収益性が低いということで、実施することに懸念があり、今回の計画にもバザーを入れていない。

学校長：第2回の実行委員会が10月1日となっているが、運動会の日と重なるので別日を考えたい。通知については、9月13日PTA評議員会を経て、14日に地域個配としたい。

(6) 第1回コミュニティ委員会について

教頭：今回は新型コロナウイルス感染警戒レベルを鑑み中止となってしまったが、コミュニティ委員の方にいただいた意見を集約したものを配付したい。各お助け隊からの報告等もまとめてある。

(7) こまゆみ教室のもち方について

教頭：木彫教室は7月に第1回を実施したが、レベルが上がったため中断中。長野大学こまゆみ教室は、11月26日に実施の方向。

会長：木彫教室で作っているものは？

学校長：小さい椅子の背中に当たるところの板に好きな絵柄を彫っている。

(8) 運動会について

教頭：10月1日（土）に第112回運動会を午前中に行う。来賓については来賓席を設けない。学校運営協議会の皆さんには、準備・片付け等へのご協力をお願いしたい。詳しい日程については資料をご覧ください。予備日は2日（日）、8日（土）。準備は前々日と前日の2日間。

会長：都合の良い方はお手伝いをお願いしたい。

(9) その他

委員：転出により、PTA役員の方が変更になる。今後について検討していく。

委員：アサギマダラはそろそろ来るのか？

学校長：9月から10月にかけて川西地域で蝶のマップを作って配付される。その中に学校も載ってくると思う。

5 閉会の言葉

次回は、臨時で9月9日（金）開始時刻午後6時

第4回は、12月20日（火）開始時刻は午後5時45分